1. 大学および高等専門学校の分布
2. 大学への進学率と入学者数.
   大学の学生数

1. 大学および高等専門学校の分布

わが国の大学および高等専門学校は1973年10月1日現在967校で、そのうち大学が404校、短期大学が500校、高等専門学校が63校である。国立の学校は大学が78校、短期大学が26校、高等専門学校が52校、公立の学校は大学が32校、短期大学が45校、高等専門学校が4校、私立の学校は大学が294校、短期大学が429校、高等専門学校が7校である。大学404校のうち、大学院をもち短期大学部を併設する大学は49校(11.1%)、大学院をもつ大学（短期大学を併設しない）は199校（49.1%)、短期大学部を併設する大学は75校である。夜間部をもつ学校は、大学の約15%、短期大学の22%で、男子だけの学校は大学2校、短期大学7校、女子だけの学校は、大学81校、短期大学310校である。大学404校の延学部数は901学部で、1校あたり2.2学部である。そのうち国立は1校あたり3.8学部、公立は1校あたり1.9学部、私立は1校あたり1.7学部である。1学部から成る学校は232校、2学部から5学部までの学校は137校、6学部以上の学校は、35校である。国立大学はすべての都道府県に設置され、福岡県に4校、北海道に7校、東京都に13校ある。私立大学は、東京都が90校でもっとも多く、つぎに大阪府が27校である。私立短期大学は、すべての都道府県に1校以上分布し、東京都が82校でもっとも多い。

〔凡例と作図の要点〕

1973年10月1日現在の、大学、短期大学、高等専門学校の分布を表示した。

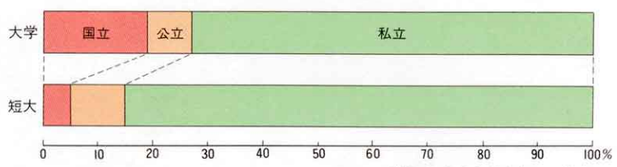
1つの大学で、その学部等が各地に分散している場合には、それぞれの所在地に記号を表示したが、同一市町村内に分かれて存在する場合には、同じ所在地にあるものとしてまとめて取扱った。

大学は学部数を表示したが、同一学部の一部（昼間部）と二部（夜間部）は1学部とした。

〔資料〕

1．文部省，昭和48年度全国大学一覧
2．文部省，昭和48年度短期大学一覧
3．文部省，昭和48年度高等専門学校一覧

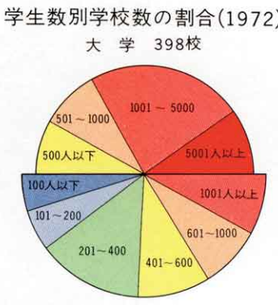
設置者別学校数の割合（1972）



（学校基本調査報告書から作成）

学生数別学校数の割合(1972)

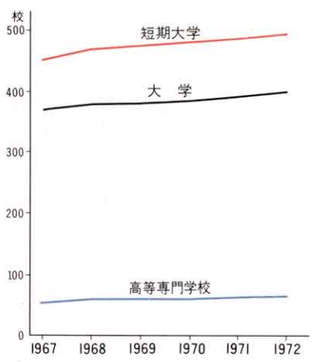
大　学　398校



短期大学　491校

（学校基本調査報告書から作成）

学校数の推移



（学校基本調査報告書から作成）

2. 大学への進学率と入学者数

1972年の高校卒業者は131.9万人、同年の大学および短期大学の入学者は51.2万人で、その進学率は全国平均38.8%である。高校卒業者のうち、その年に大学・短期大学へ進学した者の割合は29.2%である。

進学率は東京都（52.3%)、大阪府（50.9%）などが高く、沖縄県は19.6%でもっとも低い。また、東北地方や九州南部の各県で30%以下となっている。

卒業した高校の所在する県と、入学した大学の所在する県との関係をみると、高校所在県にある大学（自県）に入学した者のしめる割合が50%以上の県は東京（84.4%)、愛知（71.2%）など7県で、関東地方の各県では、自県をふくめて自地方の大学に入学した者は9割をこえ、近畿地方でも自地方へ入学した者の割合は高い。自県の大学に入学した者の割合が低い県は、島根（7.2%)、和歌山（9.9%）などで、そのほか19県が20%以下である。

〔凡例と作図の要点〕

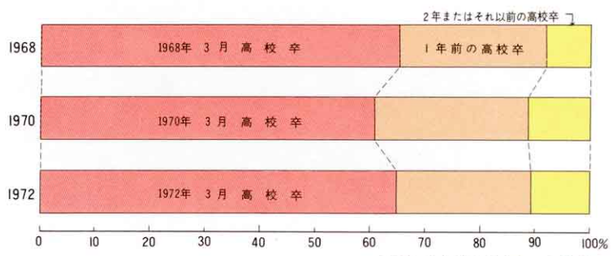
1972年の大学への進学率と入学者数を表示した。入学者数は入学先を地方別に色分けし、さらに県別に区分した。

進学率と大学入学者数はともに高校の所在する県単位の統計によるものであり、進学率は1972年3月に卒業した生徒数にたいする1972年4月に大学・短大へ進学した者の割合である。大学入学者数は1972年3月以前の高校卒業者や、他県に所在する大学へ進学した者をふくむ。

〔資料〕

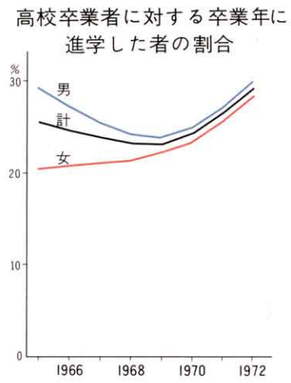
1．文部省，昭和47年度学校基本調査報告書

大学入学者の高校卒業年次別の割合



（学校基本調査報告書から作成）

高校卒業者に対する卒業年に進学した者の割合

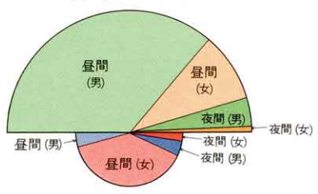


（学校基本調査報告書から作成）

昼夜別学生数の割合（1972）

―大学院生を除く―

大　学　149.3万人



短期大学　29.1万人

（学校基本調査報告書から作成）

2. 大学の学生数

1972年5月1日現在、わが国の学生は大学生が149.3万人、大学院生が4.5万人、短期大学生が29.1万人で、あわせて182.8万人である。

都道府県別の学生数は、東京都が74.8万人（41.2%）でもっとも多く、つぎに大阪府18.7万人（10.3%)、この両県に愛知、京都、福岡、兵庫を加えた6県で全学生の約4分の3をしめている。

大学院生は東京都が20,400人（全大学院生の45.6%）でもっとも多く、つぎに京都府が4,800人である。大阪、愛知、宮城、福岡、北海道、兵庫の各府県も1,000人以上である。大学院生の女子の割合は平均8.9%である。全学生にたいする大学院生の割合は平均2.5%で、そのもっとも高い県は宮城の5.1%である。

短期大学の学生は東京都が78,100人（全短大生の26.9%)、大阪府が28,900人（10.0%）で、愛知、兵庫、福岡、京都、北海道、神奈川の各府県も10,000人以上である。短期大学の学生のうち女子の割合は平均84.1%で、福井、鳥取、島根の3県では100%をしめ、もっとも少ない県でも50%以上となっている。全学生にたいする短期大学生の割合は、平均15.9%で、岐阜県が53.9%でもっとも多く、福島、滋賀、群馬県の各県が40%をこえる。

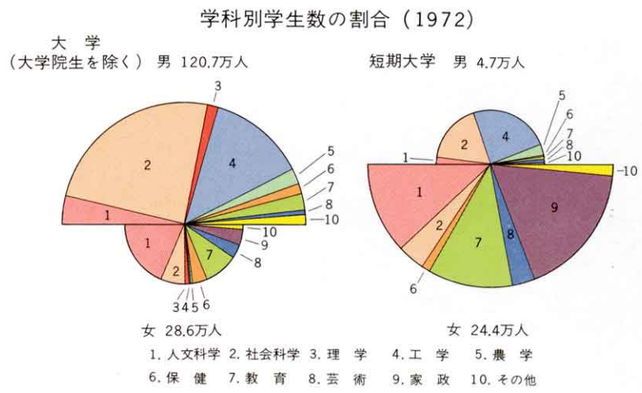
〔凡例と作図の要点〕

1972年5月1日現在の大学の在学者数を、学校の所在する都道府県別に表示した。

〔資料〕

1．文部省，昭和47年度学校基本調査報告書

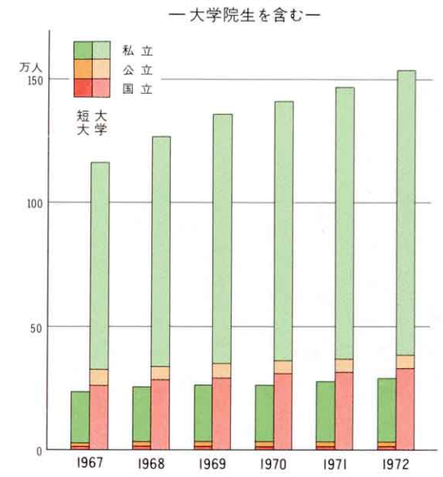
学科別学生数の割合（1972）



（学校基本調査報告書から作成）

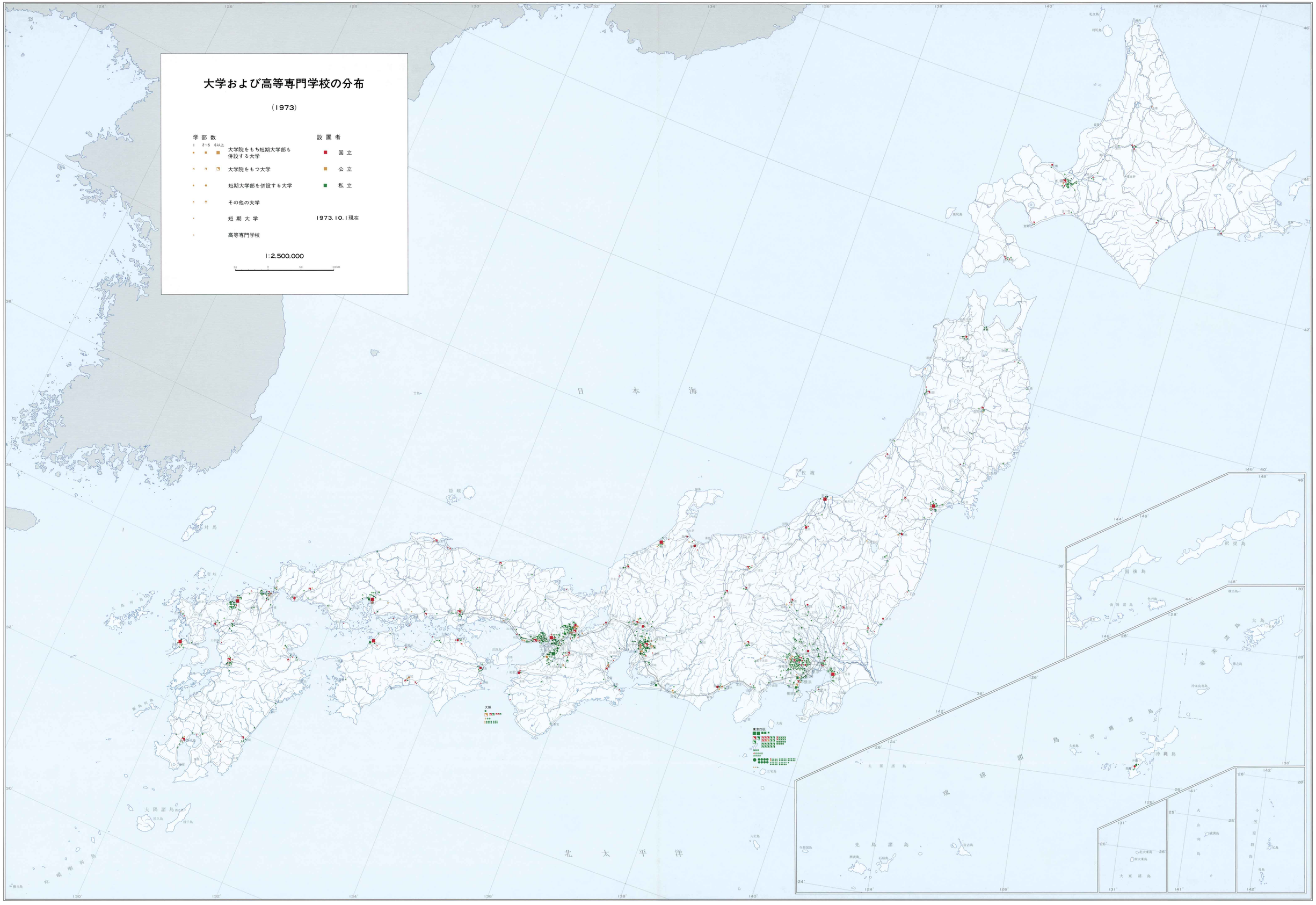
学生数の推移

―大学院生を含む―

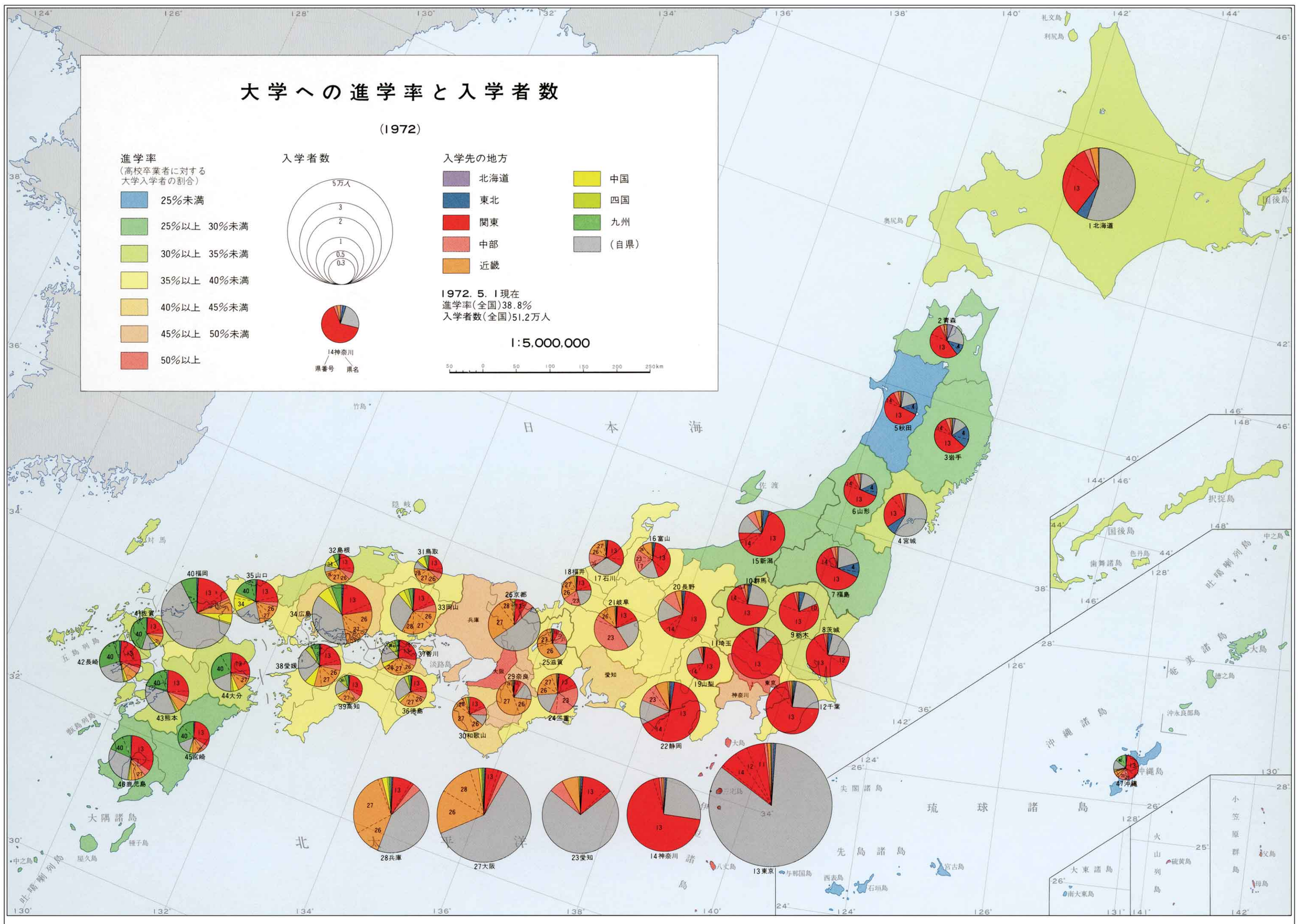


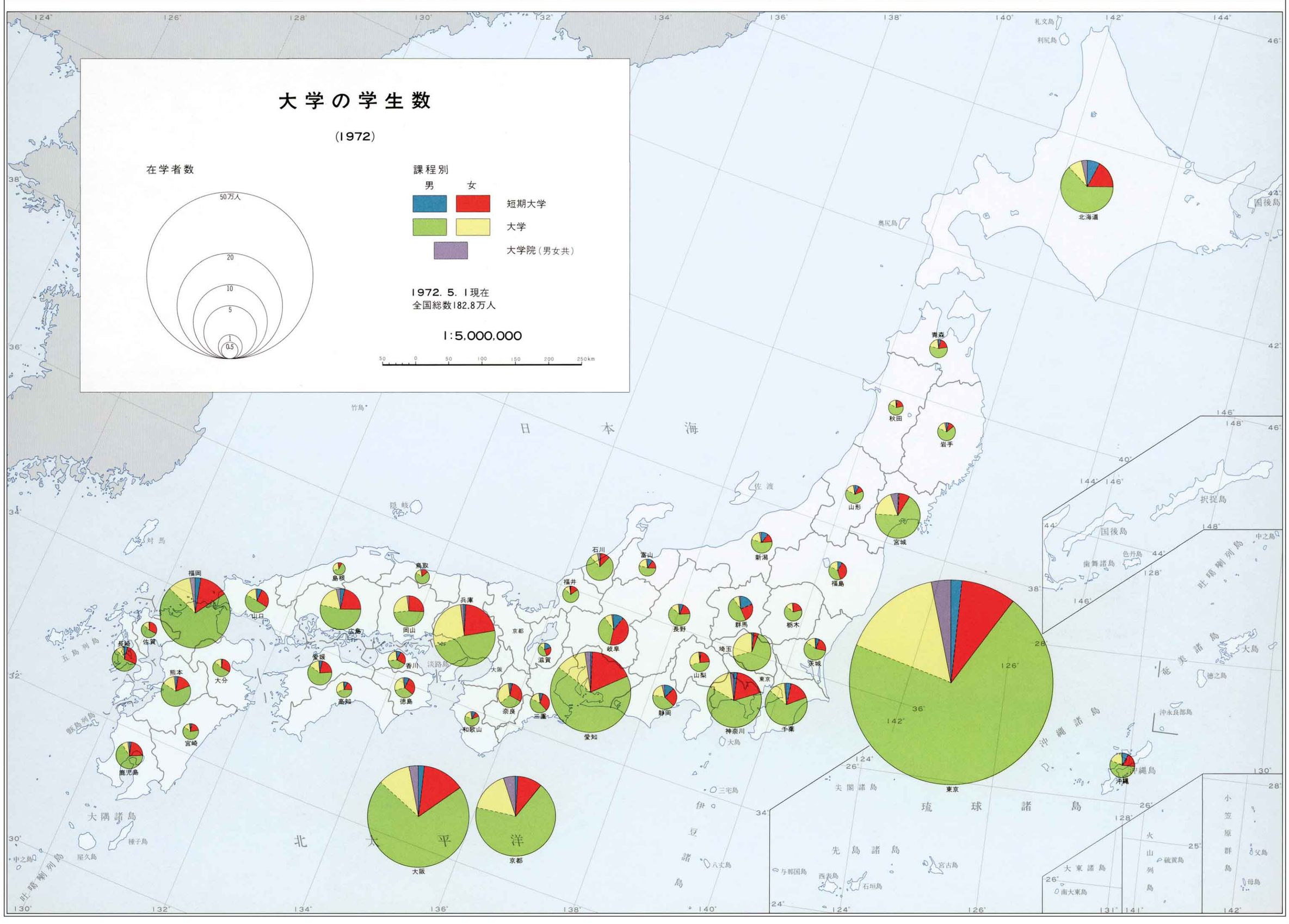
（学校基本調査報告書から作成）

75.1


大学および高等専門学校の分布
(1973)
学部数
1
2~5
6以上
大学院をもち短期大学部も併設する大学
大学院をもつ大学
短期大学部を併設する大学
その他の大学
短期大学
高等専門学校
設置者
国立
公立
私立
1973.10.1現在
1:2,500,000
日本海
北太平洋
琉球諸島
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
沖縄諸島
先島諸島
大東諸島
小笠原諸島
大隅諸島
対馬
佐渡
隠岐
水面
東京23区

75.2


大学への進学率と入学者数
(1972)
進学率
(高校卒業者に対する大学入学者の割合)
25%未満
25%以上 30%未満
30%以上 35%未満
35%以上 40%未満
40%以上 45%未満
45%以上 50%未満
50%以上
入学者数
5万人
3
2
1
0.5
0.3
14神奈川
県番号 県名
入学先の地方
北海道
東北
関東
中部
近畿
中国
四国
九州
(自県)
1972. 5. 1現在
進学率(全国)38.8%
入学者数(全国)51.2万人
1:5,000,000
日本海
北太平洋
琉球諸島
1北海道
2青森
3岩手
4宮城
5秋田
6山形
7福島
8茨城
9栃木
10群馬
11埼玉
12千葉
13東京
14神奈川
15新潟
16富山
17石川
18福井
19山梨
20長野
21岐阜
22静岡
23愛知
24三重
25滋賀
26京都
27大阪
28兵庫
29奈良
30和歌山
31鳥取
32島根
33岡山
34広島
35山口
36徳島
37香川
38愛媛
39高知
40福岡
41佐賀
42長崎
43熊本
44大分
45宮崎
46鹿児島
47沖縄


大学の学生数
(1972)
在学者数
50万人
20
10
5
1
0.5
課程別
男
女
短期大学
大学
大学院(男女共)
1972. 5. 1現在
全国総数182.8万人
1:5,000,000
日本海
北太平洋
琉球諸島
北海道
青森
秋田
岩手
宮城
山形
福島
新潟
富山
石川
福井
長野
群馬
栃木
茨城
岐阜
埼玉
山梨
東京
千葉
静岡
愛知
神奈川
滋賀
三重
京都
大阪
奈良
和歌山
兵庫
鳥取
岡山
島根
広島
山口
香川
徳島
愛媛
高知
福岡
佐賀
長崎
熊本
大分
宮崎
鹿児島
沖縄